

(二六五四)  
 承応三年十月 群馬郡渋川村の市日商売物書上(A)

渋川村市日商売物立様之覚

上之町 二日 十七日

(南かわ)

一 小万物座

太郎兵衛

一 茶座

新之丞

一 紙座

市左衛門

一 塩座

郷左衛門

一 太物座

清兵衛

一 太物座

太左衛門

一 穀座

彦兵衛

一 同座

兵右衛門

一 同座

金左衛門

一 同座

勘左衛門

一 北かわ  
 一 繰綿座

喜左衛門

一 塩座

太右衛門

一 茶座

伊左衛門

一 小万物座

庄右衛門

一 繰綿座

佐左衛門

(中略)

右之通、当町從先規商売座相定立來り申候、此外絹・綿・麻布、板・檜木・材木・薪、惣而不依何ニ座定無御座候、上中下共ニ他所より入込、市場ニ而商売仕來り申候、薪之儀者市場ニ余り申時者、上より下江順々ニ押下ケ立來り申候、諸々方入込申候馬口勞馬売買之儀者、町割以前より之事故、馬問屋ニ余りと兵衛・權左衛門へ馬宿為致候ニ付、馬行錢喜兵衛取來り申候、是迄立來り申候市之法式奉書上候処、弥以先規之通相守、嬰ニ仕間敷、若我成ル義仕候者御穿鑿之上、何様ニも可被仰付一段承知奉畏候、依レ之連判差上申候処、如件

上、劔群馬郡渋川村

名主

善右衛門

同

伊左衛門

承応三年

午十月廿五日

同

九左衛門

(後略)

同  
喜<sup>屋</sup>兵衛<sup>印</sup>

同  
太良兵衛<sup>印</sup>

同  
佐次兵衛<sup>印</sup>

組  
彦<sup>頭</sup>兵衛<sup>印</sup>

同  
源左衛門<sup>印</sup>

同  
与惣兵衛<sup>印</sup>